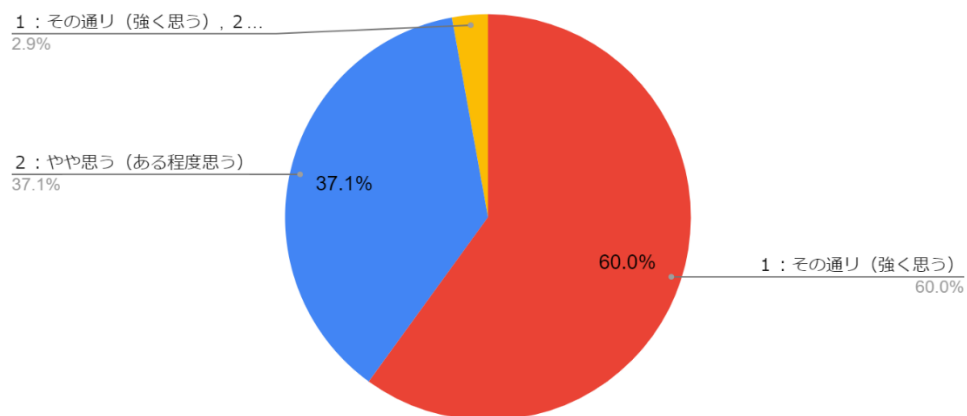
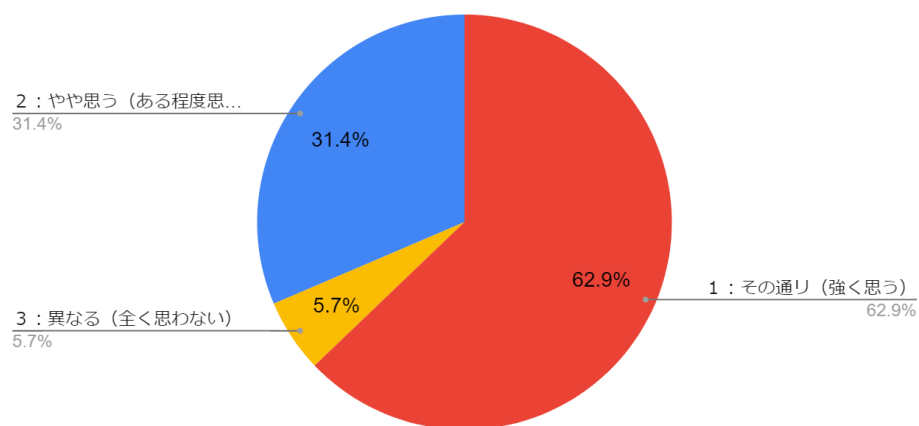


## 年度末アンケート(3学年)58人対象

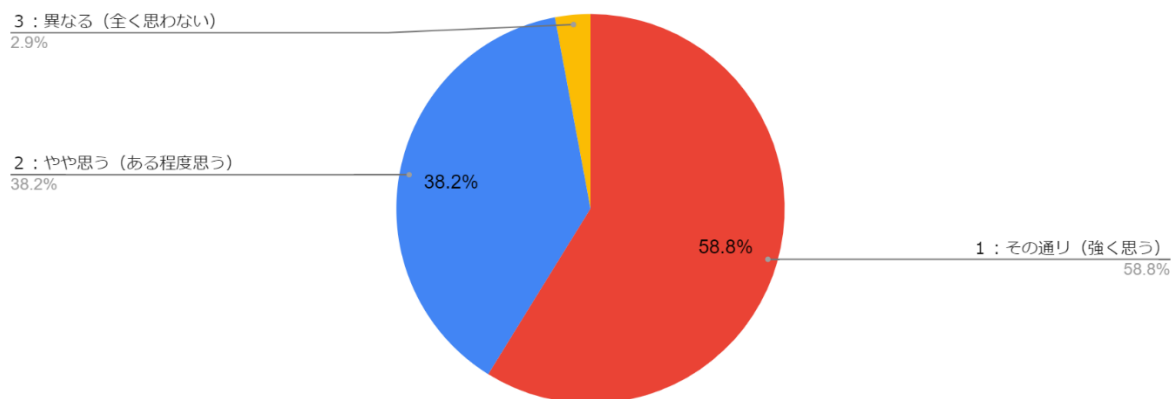
「1. 論理的思考力についての質問です。  
3年間の探究科の取り組みを通して論理的な思考力を高めたいと思う。...



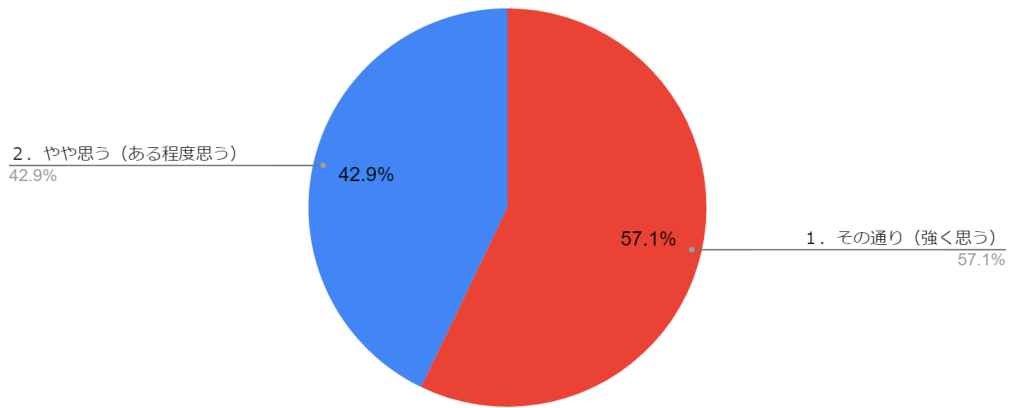
「2. 批判的思考力についての質問です。  
様々な文化の違いについて、理解し、考える力を身につけたい。...



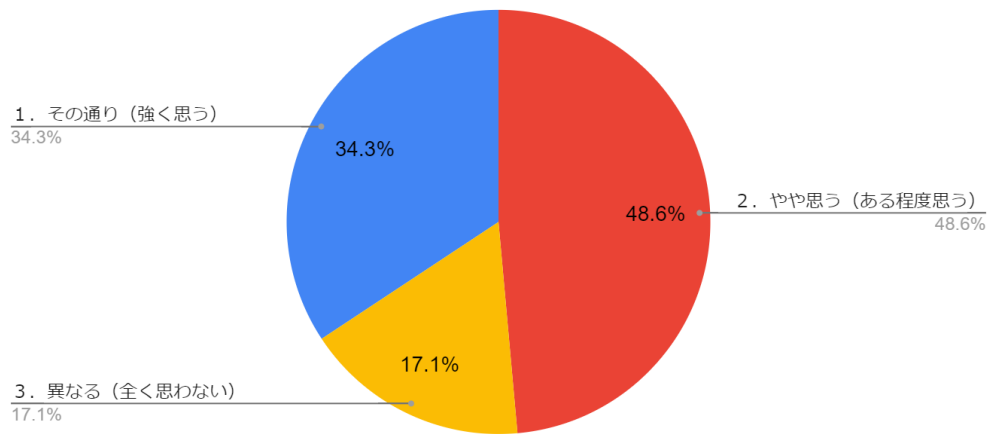
「3. コミュニケーション力についての質問です。  
討論 (グループディスカッション等) の場で正しく理解して討論できる力を身につけたい。」



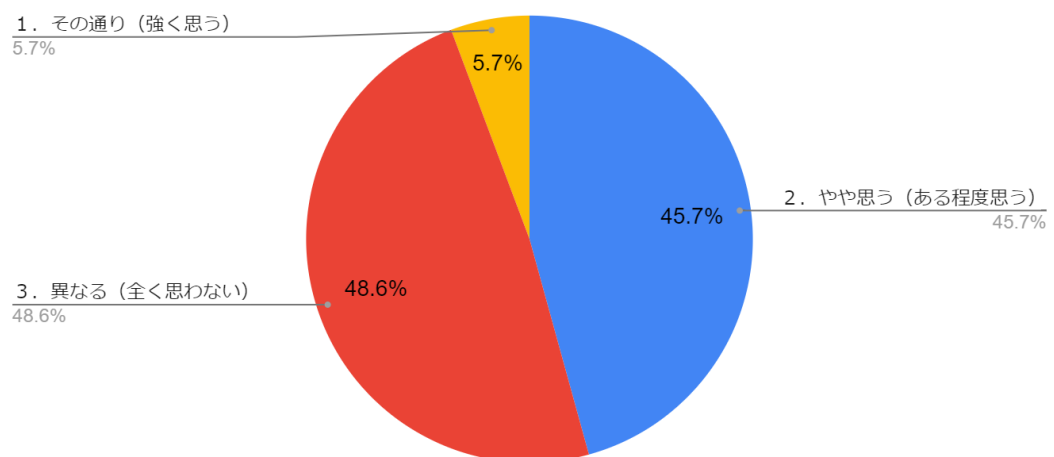
「4. コミュニケーション力についての質問です。  
主体的に課題を構想し、解決する力を身につけたい。」



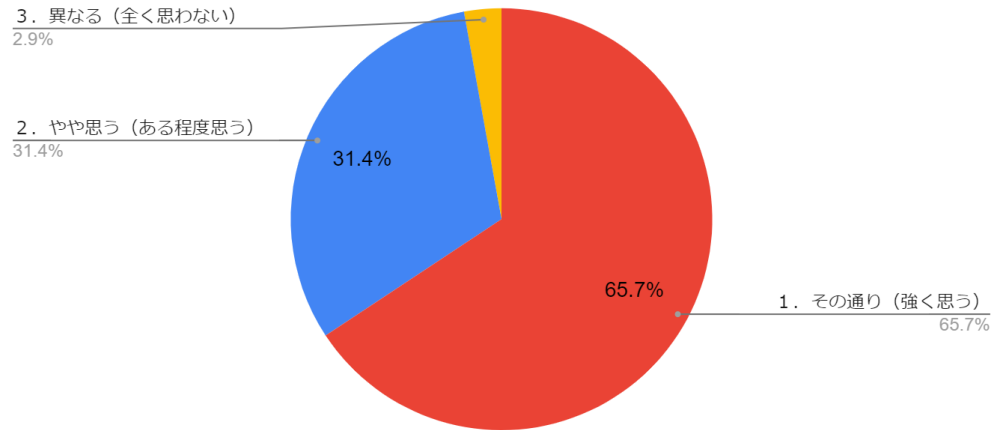
「5. グローカルリーダーの資質についての質問です。  
グローカルリーダーとしての自覚を高め、様々な方面で活躍したい。」



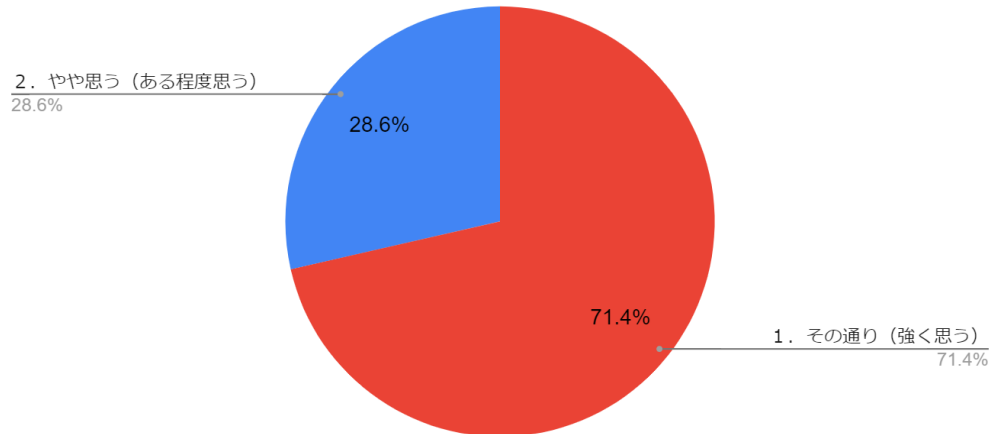
「6. 大学は県外の大学に進学したいが、将来的には山梨県に戻ってきたい。」



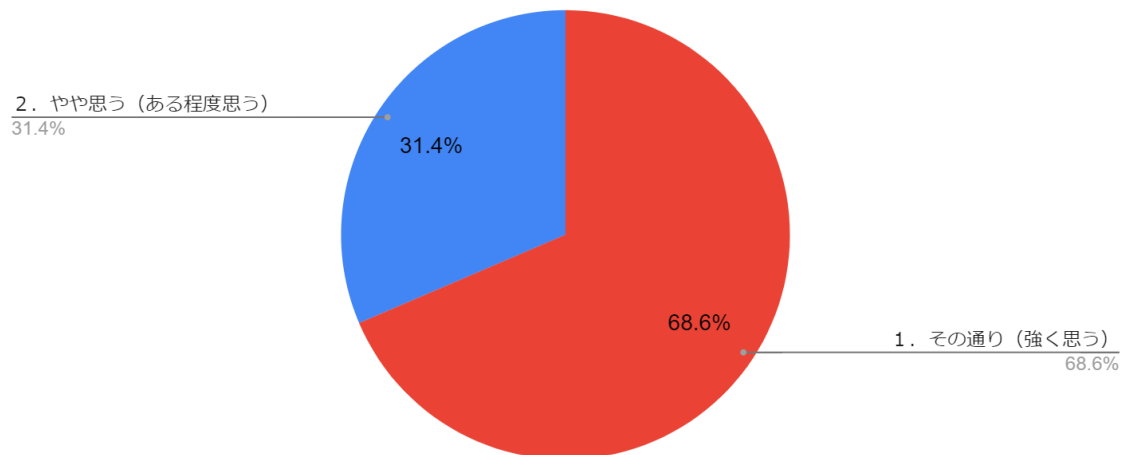
「7. 興味・関心についての質問です。  
未来の事柄への興味・関心がある。」



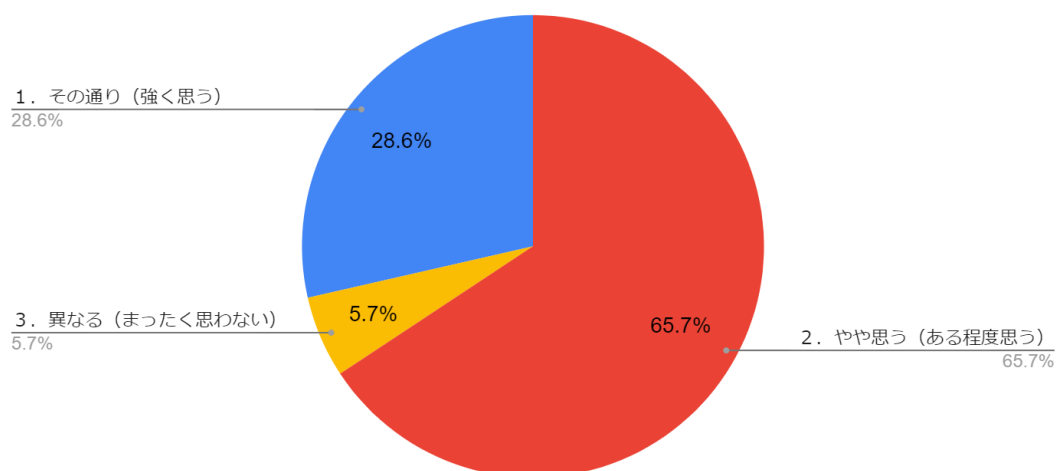
「8. 自主性・挑戦心についての質問です。  
途中であきらめず、粘り強く物事に取り組む姿勢を身につけたい。」



「9. プレゼンテーション力についての質問です。  
成果を発表し伝える力を身につけたい。」



「10. 探究科の活動を通して郷土愛が深まると思う。」



1 1. あなたは3年間探究活動を行って得たものはありますか？また今後の自分に何かしら影響が出ると思いますか？3年間の探究活動についてあなたが考える(思う)ことを何でもよいので書いてください。

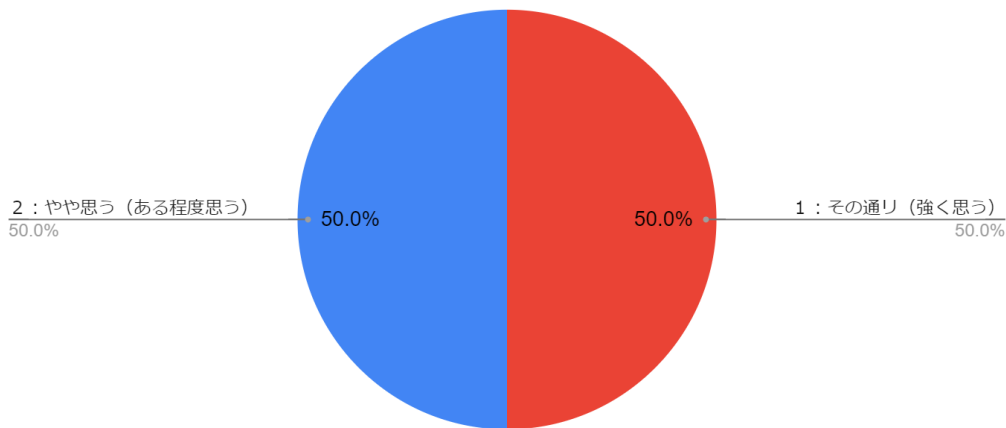
- ・ 諦めない心
- ・ 探究活動のポイントはこの先どうしようもないと思える状況に立たされることにあると思います。そういう状況に立った時にどうするかを考えに考え、友人や先生方に相談してどうにか活路を切り拓いた経験はとてもためになったと思います。
- ・ 行動力
- ・ 3年間の探究活動を通して、問題の解決に向けて動くときに誰をターゲットに絞るのかを明確にすることと、自分と年齢の違う人に対して伝えるときに相手に寄り添った伝え方(言葉の難易度、どの写真を使うかなど)をすることの大切さを学びました。将来幼稚園教諭になりたいと考えているので、生かしていけると思っています。
- ・ 友達と協力して課題解決に取り組む経験ができたことが良かったと思う。社会に出て、仕事をする時に役立つことだと思う。
- ・ 色々な人と協働する姿勢を学べました。
- ・ 探究科に入ったことで、普通科では味わえない経験ができた。
- ・ 共同で作業し、班員から良い刺激を貰い、沢山学ばせてもらった。この経験は役に立つと思う
- ・ 探究活動を通して、より社会における課題に目を向ける機会が増えたことや、課題を解決する力を得ることができた。大学では、これらの能力を必要とする機会がさまざまな場面であると思うので、しっかりと振り返っていかせるようにしたい。
- ・ 人と話し合い、折衷案を探す力
- ・ コミュニケーション能力、英語能力、プレゼンテーション能力
- ・ 私は3年間、山梨の農業の人手不足と高齢化について探究していましたが、山梨県庁の方やJAの方、農家の方などと実際に会って話をしてみることで1つのことに対しても様々な視点があり、その一つひとつに

耳を傾けていく必要があることを学びました。多くの人の意見を取り入れることで、自分達の提案の方向性が変わってしまうこともありましたが、その分考えを深めることができました。

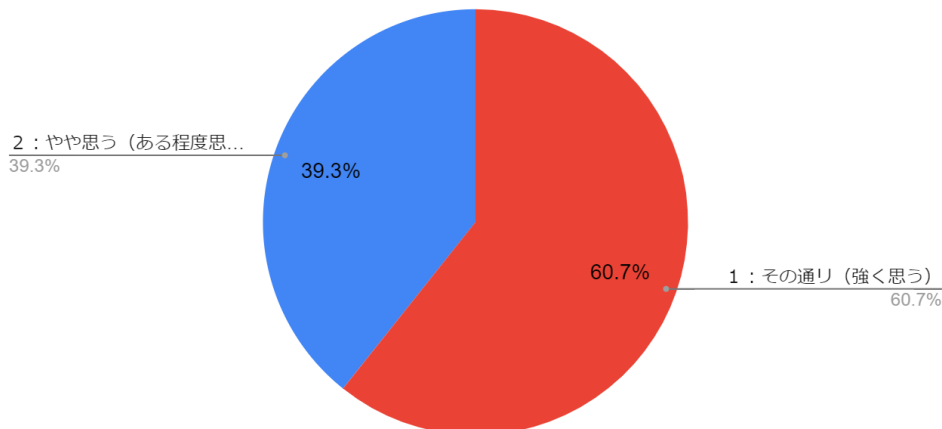
- ・ 参考にする論文の選び方、読み方、最終的には論文の書き方を学べたのは今後の大学生活においておおいに役立つと思いました。
- ・ 様々な方向から課題解決のアプローチをする力。社会で起こっている問題に対しても様々な角度から見ることができると思う。
- ・ ひとつの事象を起点にして発想を飛ばし、他方と結びつけて考える力。及び、仲間と考えを共有し、議論し、まとめる力。また、意見を自分の言葉で発表する力。身近な課題と世界的な課題を結びつけ、課題解決に向けて仲間と議論し、その考えを相手の興味を引きながら伝える、という事の大切さを感じることができた。また、探求活動は地元山梨の素晴らしさに気付くきっかけとなった。

## 年度末アンケート(2学年) 56人対象

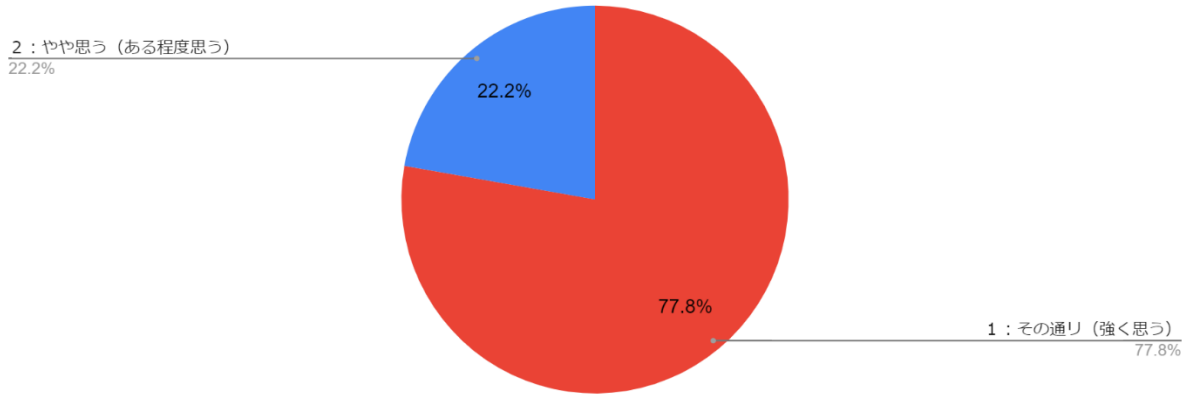
「1. 論理的思考力についての質問です。  
3年間の探究科の取り組みを通して論理的な思考力を高めたいと思う。...



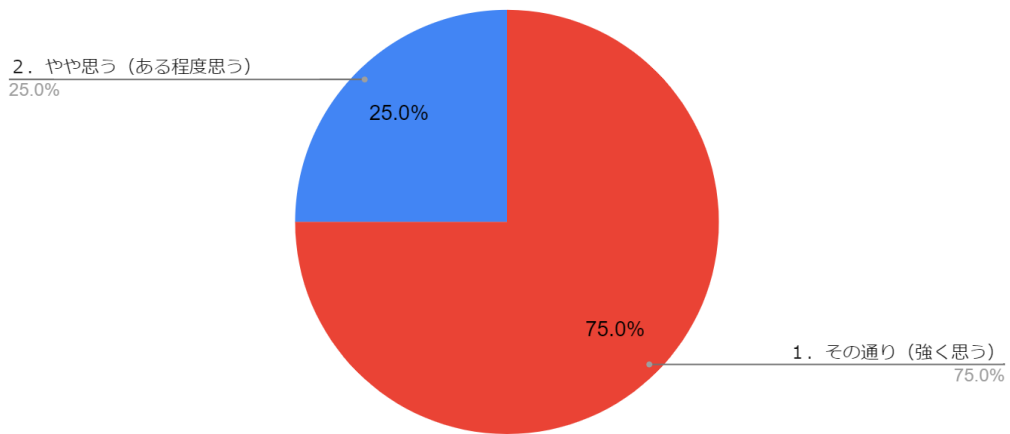
「2. 批判的思考力についての質問です。  
様々な文化の違いについて、理解し、考える力を身につけたい。...



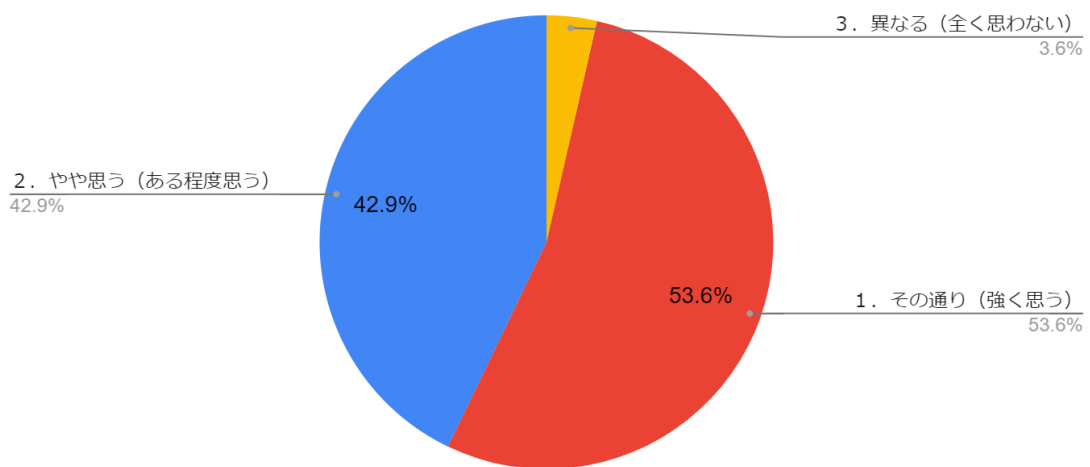
「3. コミュニケーション力についての質問です。  
 討論（グループディスカッション等）の場で正しく理解して討論できる力を身につけたい。」



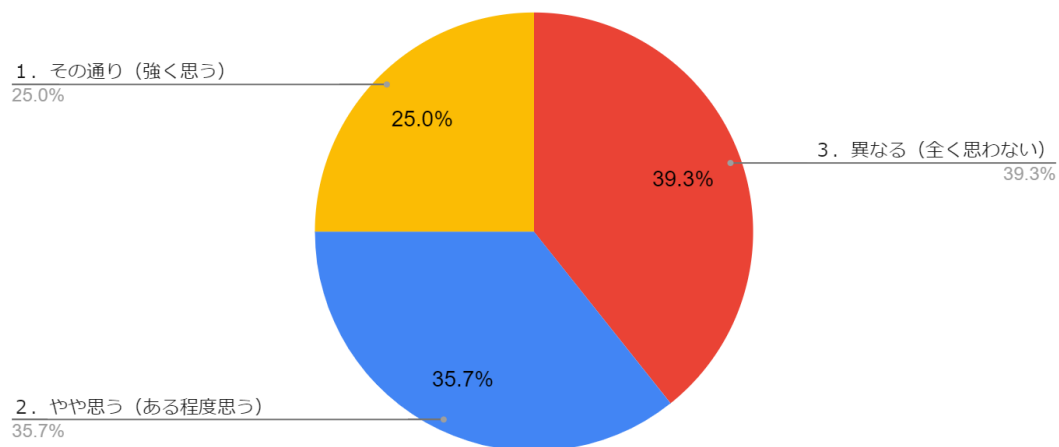
「4. コミュニケーション力についての質問です。  
 主体的に課題を構想し、解決する力を身につけたい。」



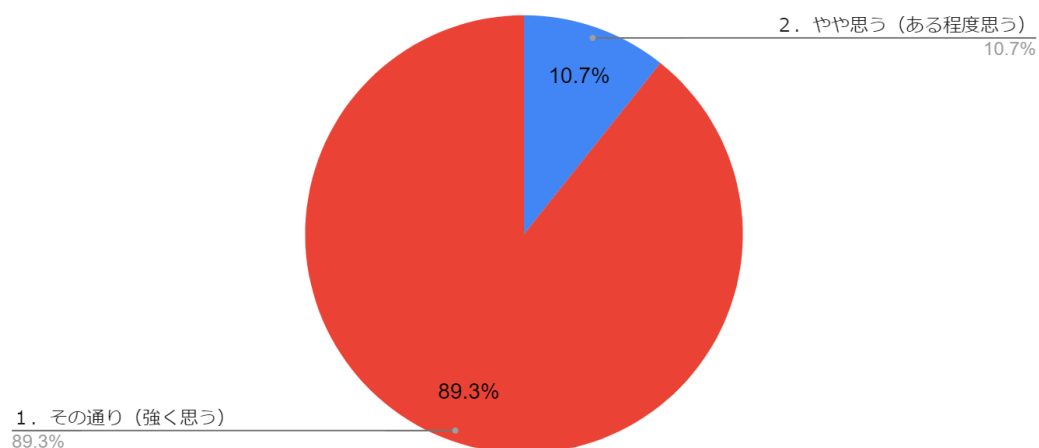
「5. グローカルリーダーの資質についての質問です。  
 グローカルリーダーとしての自覚を高め、様々な方面で活躍したい。」



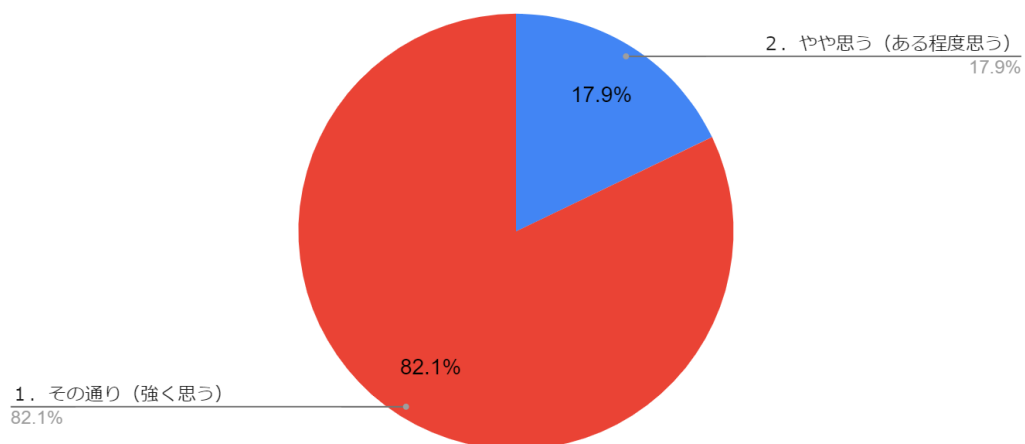
「6. 大学は県外の大学に進学したいが、将来的には山梨県に戻ってきたい。」



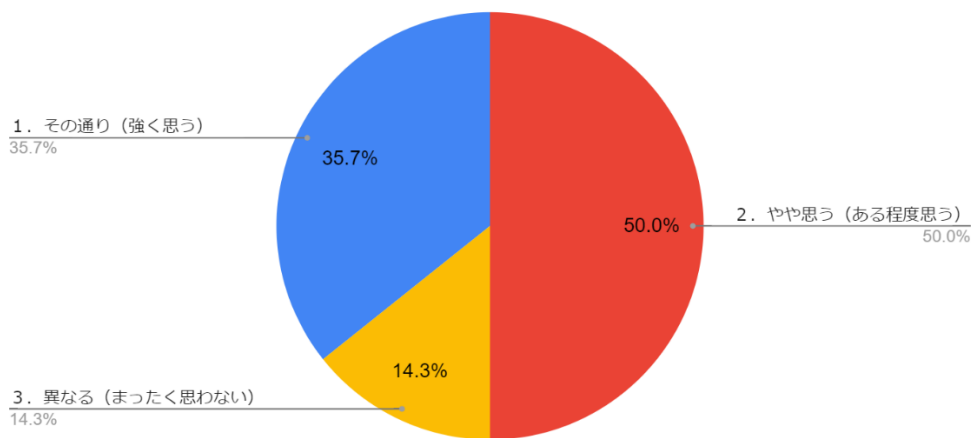
「8. 自主性・挑戦心についての質問です。途中であきらめず、粘り強く物事に取り組む姿勢を身につけたい。」



「9. プレゼンテーション力についての質問です。成果を発表し伝える力を身につけたい。」



「10. 探究科の活動を通して郷土愛が深まると思う。」



11. 最後に探究活動について何でもよいので書いてください。

- ・ ブランドサミットやブラッシュアップを通して活動がよい方向へ進んだのでよかったです。
- ・ まだやらなきゃいけないことが自分たちの探究にはある。後回しにしないで色々と同時進行で進めなければいけない。
- ・ あと1年、悔いを残さないように頑張りたいです
- ・ 日本語でも話す力や、思考力がないと探究できないと強く思う
- ・ 部活勉強との両立は大変だが、やりがいは感じている
- ・ もっと外部に発表したり企業と繋がってみたい
- ・ 勉強との両立が難しいが、進路実現には役立つと思う。また、おそらく大学生レベルの事をやっていると思うから、普通の高校生活では経験できないものであって、自分のためになるものだと感じる。
- ・ コミュニケーションの仕方を学びました。また、プレゼンが前よりも上手くできるようになった気がします。
- ・ 今後も頑張っていきたいです
- ・ 失敗しても、最後まで諦めずに発明品の普及をしたいと思います。
- ・ 今取り組んでいるのは入学時興味があった探究テーマでは無い。しかし、探究活動を通して学べることは探究テーマの内容のみならず、プレゼンテーションやPPTの作り方など多岐にわたっていて、将来役立つテクニックを学べるという点で探究科に入ってよかったと思っている。
- ・ 活動自体はとても楽しく、やりがいのあるものだと思う
- ・ 外部へのアポイントの取り方がうまくなった。知らない人と話すのにためらいがなくなった。
- ・ 探究が忙しく、想像以上に部活に出られないことが多い。
- ・ 最初は面倒くさく、何すればいいかわからなくて、班員達とのギクシャクや停滞した雰囲気でもどんどん探究活動が嫌になっていくことが多かった。しかし、今はほかの班が活躍している姿を見て、放課後にみんなが活動している姿を見ると、自分も探究頑張ろうと思える。何か一つのことについて探究していくのはこんなに大変な事だとは思わなかった。上手いかわないことも沢山あるけれど、本当にいい経験になった。大学に行っても、こんな感じで自分の興味のあることを沢山学びたい。でもやっぱり、探

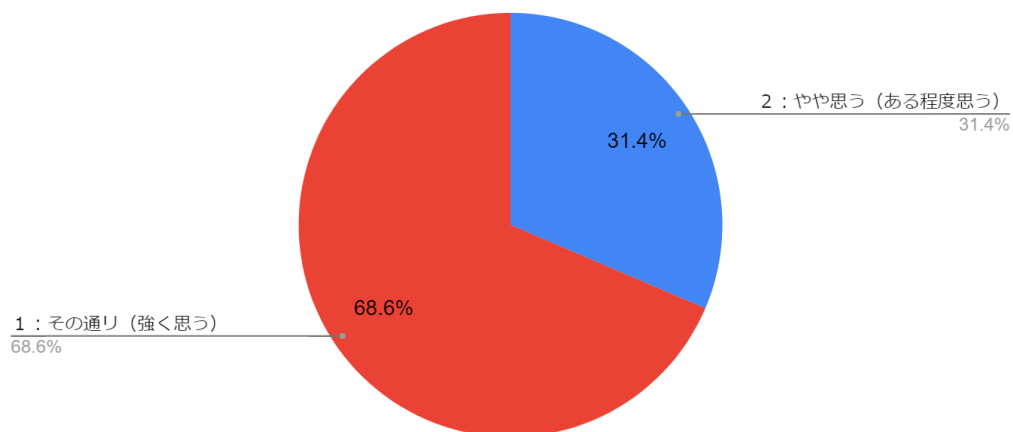


究活動って本当に大変だし、1 個の部活みたいなもの。部活をしている人が多い班は探究が進まなくて大変そう。

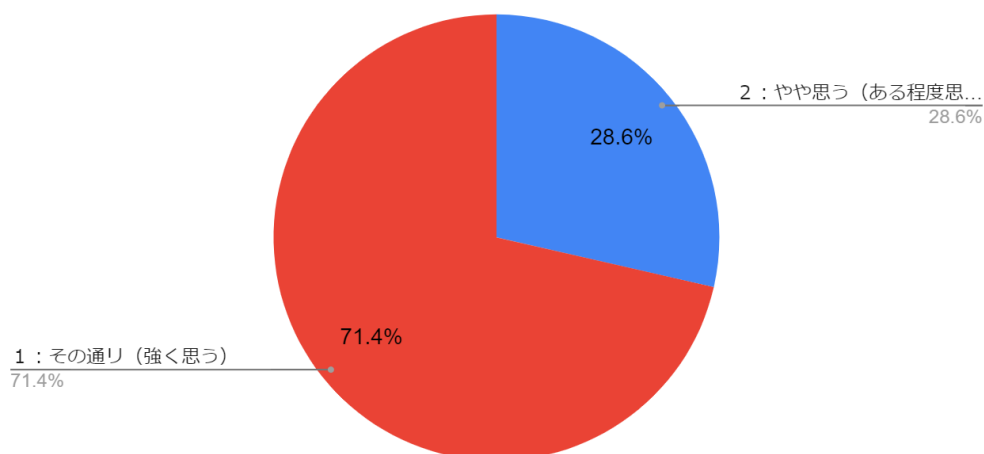
- ・ 中学でも探究活動は行っていたが、高校に入ってからより活動範囲や巻き込める人の数が増え、やりたいことが多く実現できるようになった。また、英語でのプレゼンや質疑応答を経験することで、実用的な英語の能力を高められたと思う。
- ・ 大学生や社会人になってからも使えるスキルを身につけられるのでやってよかったと思う
- ・ 探究活動は時間が無いから、1 年生の時の時間を無駄にしたら終わり。大会は出た方がいいけど出すぎて一つ一つが疎かになるのは良くない。また、大会に出るのにプレゼンの経験を重きに置くと、大会の運営側の求めるものと、自分たちの目的が異なってしまい、いい結果も残せない上、時間ももったいない。プレゼンを発表するだけの場は沢山ある。例えば、八ヶ岳 SDGs スクール、やまなし SDGs カフェなどなど。

## 年度末アンケート(1年生)59人対象

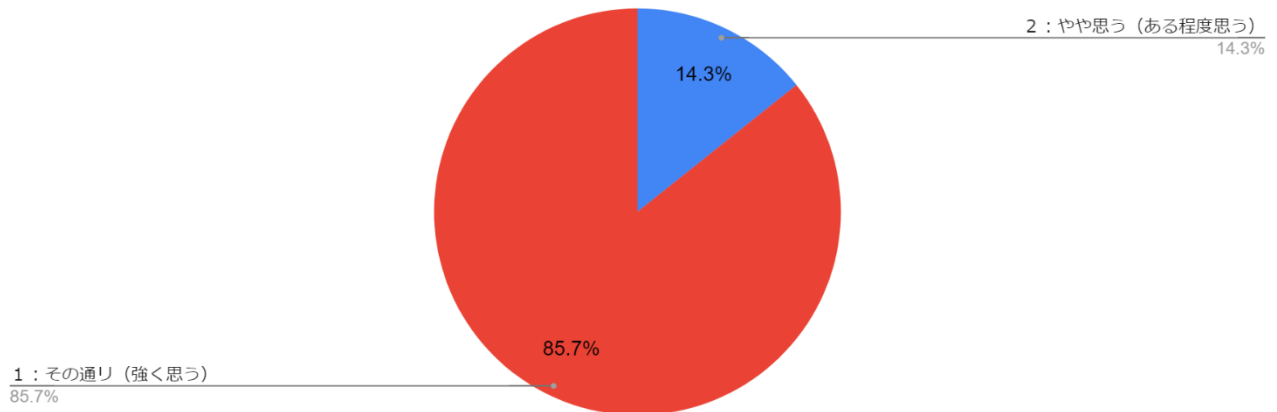
「1. 論理的思考力についての質問です。  
3年間の探究科の取り組みを通して論理的な思考力を高めたいと思う。...



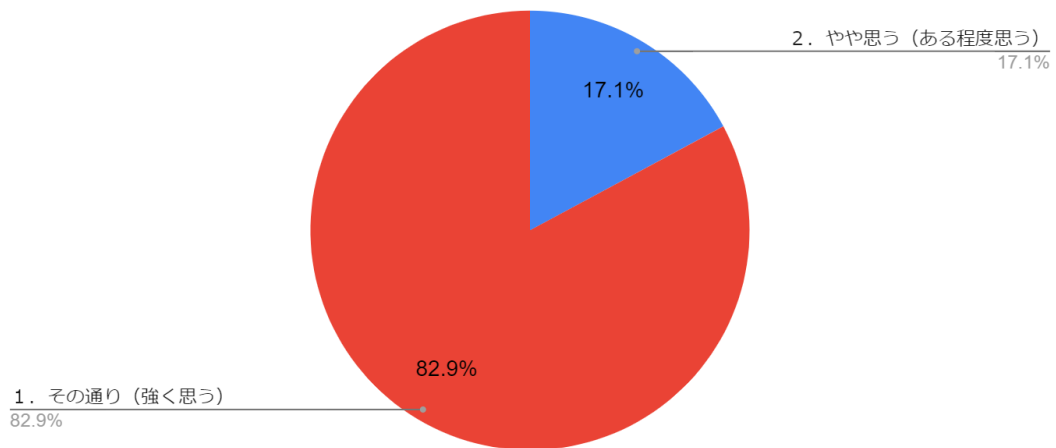
「2. 批判的思考力についての質問です。  
様々な文化の違いについて、理解し、考える力を身につけたい。...



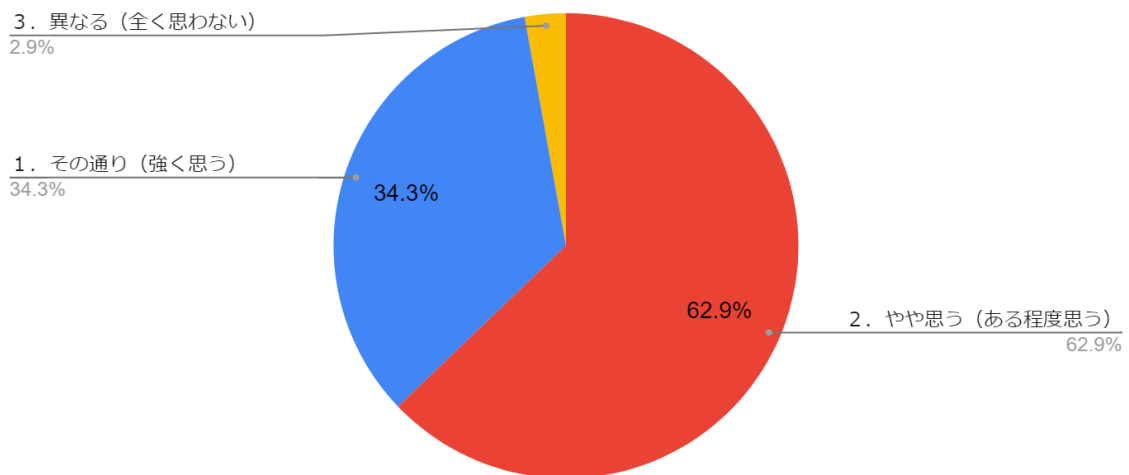
「3. コミュニケーション力についての質問です。  
 討論（グループディスカッション等）の場で正しく理解して討論できる力を身につけたい。」



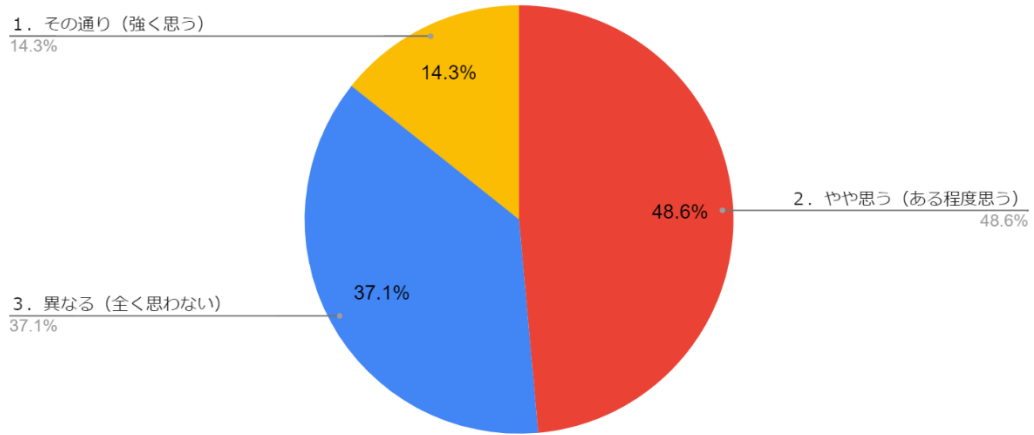
「4. コミュニケーション力についての質問です。  
 主体的に課題を構想し、解決する力を身につけたい。」



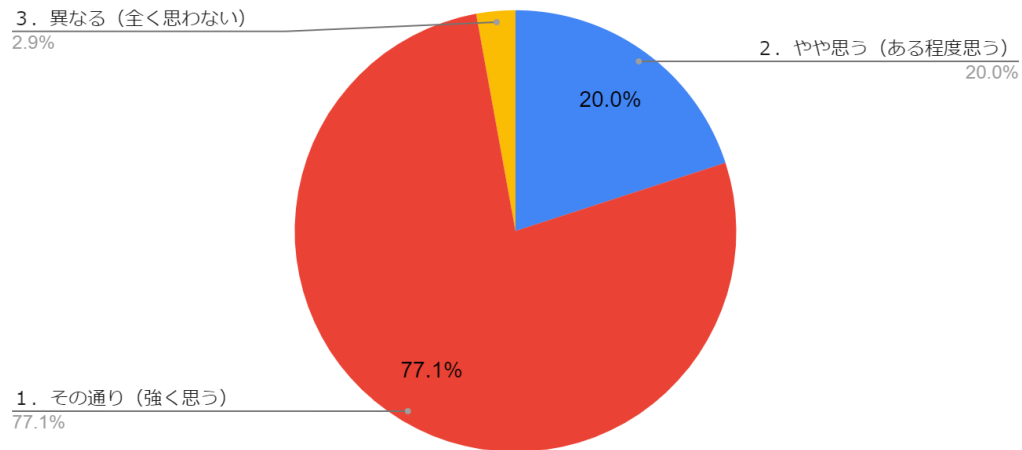
「5. グローカルリーダーの資質についての質問です。  
 グローカルリーダーとしての自覚を高め、様々な方面で活躍したい。」



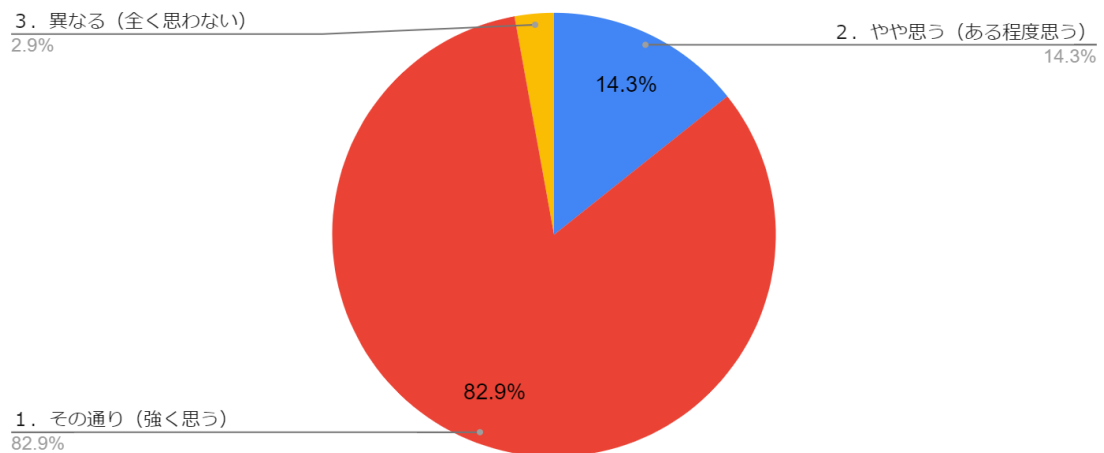
「6. 大学は県外の大学に進学したいが、将来的には山梨県に戻ってきたい。」



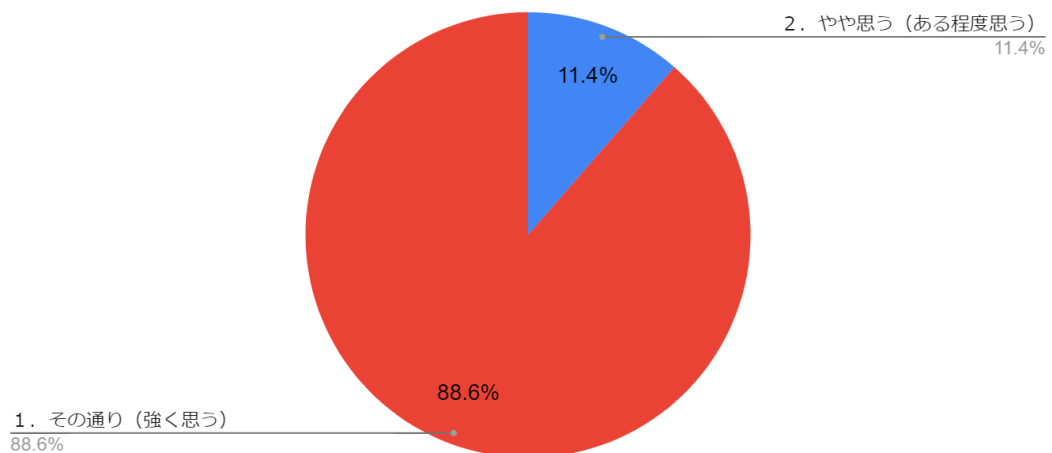
「7. 興味・関心についての質問です。  
未来の事柄への興味・関心がある。」



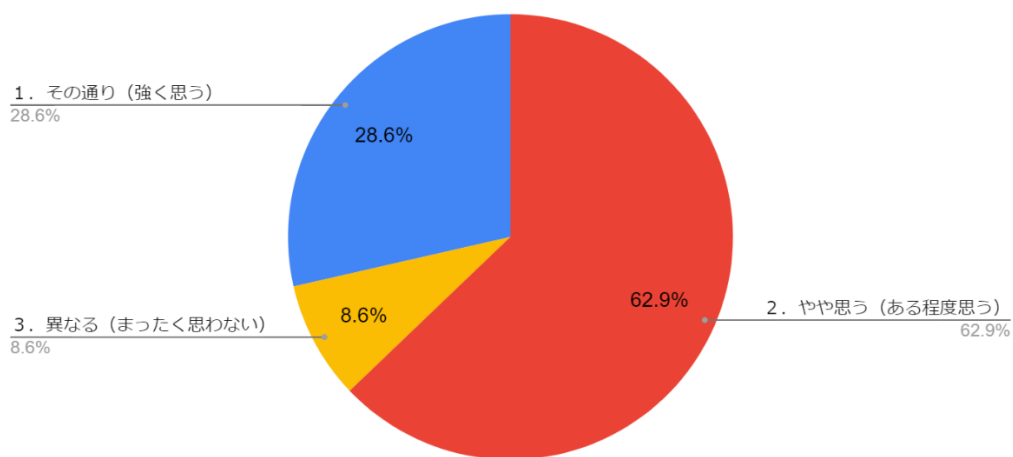
「8. 自主性・挑戦心についての質問です。  
途中であきらめず、粘り強く物事に取り組む姿勢を身につけたい。」



「9. プレゼンテーション力についての質問です。  
成果を発表し伝える力を身につけたい。」



「10. 探究科の活動を通して郷土愛が深まると思う。」



11. 一年間探究活動を行って思うこと。

- ・ 部活勉強との両立は大変だが、やりがいは感じている
- ・ 勉強との両立が難しいが、進路実現には役立つと思う。また、おそらく大学生レベルの事をやっていると思うから、普通の高校生活では経験できないものであって、自分のためになるものだと感じる。
- ・ 探究活動がしくて一高の探究科に入学した。探究活動は楽しい。
- ・ 探究活動に必要な実験などに要する費用が欲しい。
- ・ 外部へのアポイントの取り方がうまくなった。知らない人と話すのにためらいがなくなった。
- ・ 最初は大変だった。何すればいいかよく分からなくて、班員達とのギクシャクや停滞した雰囲気ですごい探究活動が嫌になっていくことが多かった。今はほかの班が活躍している姿を見たり、放課後にみんなが活動している姿を見ると、自分も探究頑張ろうと思える。何か一つのことについて探究していくのはこんなに大変な事だとは思わなかった。上手いいかないことも沢山あるけれど、本当にいい経験になった。
- ・ 人前で発表することなどの苦手なことを克服できた

- ・ 自身の身近なところにある課題を発見し、調査結果をもとにアイデアを考えていく力をつけられると思う。

## 実施アンケートのまとめ

探究科全生徒に対して次の2つの項目についてアンケートを実施した。1. 本校の目標設定に関する項目について、2. 意識の変化、英語に関する項目について、その結果を示す。全ての質問事項については各質問の回答を学年ごとにまとめてあるので参照していただきたい。

まず、1. 本校の目標設定に関する項目についてであるが、質問番号1の3年間の取り組みを通して、論理的な思考力・判断力を高めたい。については、3学年全体で97%の生徒が肯定的に考え探究活動を行っている。さらに強く思うと答えた生徒は60%である。学年ごとに見てみると、1年生では100%の生徒が肯定的に考え、68%の生徒は強く肯定的に考えており、昨年度に比べ肯定的に探究活動を行いたいと考えている生徒が増えている。今後の活動に大きな成果を残してくれるのではないかという期待が大きい。

質問番号10の探究科の活動を通して郷土愛が深まるかの問いに対しては、探究科全体の約90%の生徒が興味・関心があり、50%の生徒は特に興味・関心が強い。また探究活動を行うにしたがって（学年が上がるにしたがって）興味・関心が強くなっている。アンケート結果から本校探究科の探究活動の目標については、入学してくる1年生はある程度理解して入学し、入学後の活動を通して一層の理解・共感をし、自身の進路実現に繋げていると感じる。

質問番号6の将来山梨県で働きたいと考えている生徒は少なく、3年生では約6%、2年生25%、1年生14%が働きたいと思っている。自身の進路を真剣に考える必要が出てくる学年である3年生は進学する大学だけでなく、就職する企業についても考え、県内に魅力的な企業（働く場所）が少ないと考えているのではないかと思う。本校が探究活動を実施した1期生の生徒が2021年4月に就職する年齢を迎えた。約80名の卒業生の中で、在学中から山梨県に就職することを希望し、アナウンサーとして地元の放送局に就職した生徒、また高校在学中に行っていた探究活動の伝統工芸を受け継ぎたいとその道に進んだ卒業生もいる。探究活動が生徒に大きな影響力をもち、生徒が進路選択をするときの一助になっている。

次に海外に関する項目についてであるが、新型コロナウイルスの影響が大きく、海外に進学、留学を希望する生徒、海外で働くことを希望する生徒の数は、減少している。しかし英語の学習については積極的に考えていて、英語検定の資格についての問いに対しては90%以上の生徒が高校在学中に準1級取得を目指している。また、中学校卒業時にすでに準1級を取得して入学する生徒も少数ではあるが増えている。

これは、本校探究科の2年生において年度最後の発表会「山梨ブランドサミット」においての英語での発表の効果であると考えている。

3月18日(土)実施 ; 山梨県立甲府第一高等学校 ■公開【全体会】13:00~15:15

## ■各学年の発表概要(主旨)

1年	★発表10分以内(質疑反駁10分程度。積極的な発言をお願いします。) 1年生は探究活動の考え方や基礎基本を学ぶため、前半は「農」をテーマに全員で取り組みました。本県の現状を踏まえ、農業の抱える課題を様々な角度から分析・調査し、発表することで論理的な思考力、実践的なコミュニケーション能力を育ててきました。後半は、13班に分かれ、農業から派生した任意の課題を設定し、問いを立て、解決のためのプランを構築してきました。
2年	★発表10分以内(質疑反駁10分程度。積極的な発言をお願いします。また、英語での発表となります。できたら英語での発言をお願いします。) 2年生は12班に分かれ主体的に社会課題を設定し、解決のためのプランと並行させながら探究を続けてきました。「課題は現場にある」とよくいわれますが、県内の実地調査(企業訪問やインタビュー活動)を経ながら内容をブラッシュアップしてきました。また、イングリッシュプレゼンテーションセミナーをへて、国際的なコミュニケーション能力の育成にも力を入れてきました。
3年	★発表10分以内(質疑反駁10分程度。積極的な発言をお願いします。) 3年生は、今までの探究成果をポスターと論文にまとめました。また、探究成果を企業や行政、大学等に提案する「ファイナルプロポーザル」で探究を締めくくります。中にはイベントを実施した班もあります。なお、今回のブランドサミットでは、既に進路が決定している生徒11名、8グループの発表となります。

## ★午前分科会 タイムスケジュール

①10:00~10:25 ②10:35~11:00 ③11:10~11:35 ④11:45~12:10

## ■3年生(分科会)

班	会場	発表時間帯	言語	SDGs	社会課題探究テーマ
1	1年5組	①	日	4	<b>Enjoy Speaking English</b> 私たちは、今の英語の授業に疑問を感じています。それは、授業の中に「英語を話す」機会が少ないことです。これでは英語を話すことに慣れず、実際のコミュニケーションで話せないことにつながりかねません。そこで、私たちは英語を話す機会を増やした授業を考案し、提案する。
3	1年4組	②	日	8	<b>農家の人手不足~アプリで農家と山梨県民をつなぐ~</b> 昨年度から桃農家の人手不足に焦点を当てて探究を行い、最終的には桃農家のみならず山梨県のすべての農家の人手不足や高齢化を解決するという目標を立てて探究活動を行った。
6	2年4組	①	日	11	<b>故きを訪ねて新しさを伝える~山梨県北部に残る信仰の道「御嶽古道」について~</b> 富士山観光の一極化により他の歴史を持つ観光地の衰退という課題が生まれた。その代表的な地の一つである山梨県北部の「御嶽古道」に焦点を当て、後世に残す方法を探究している。この探究が全国の他の歴史を持つ地の復興のプロセスになることを願う。
8	2年1組	③	日	4	<b>Siesta PROJECT~昼寝が日本を変える!??~</b> 「昼寝しちゃた...」と思ったことありませんか? 私たちは皆さんの昼寝に対するイメージを180度変え、その素晴らしさを全力でお伝えします!! 昨年はアプリを作りました。今年はその後の提案活動も踏まえてお伝えします。
11	1年1組	①	日	3	<b>音楽と生活~音楽と食欲の関連性について~</b> 音楽の実用性の幅を模索し、日々の生活をさらに良いものにするにはどうしたら良いか。音楽×食事という観点から音楽を変えることによって私たちにどのような変化が起こるのか探究しました。
12	視聴覚室	①	日	12	<b>Life with MYBOTTLE ペットボトル削減に向けたマイボトル普及</b> 現在、便利さ、手軽さから多くの人がプラスチックに頼り、その結果大量生産、大量消費の社会が形成されています。このままの生活スタイルでは環境に悪影響を与え続けてしまいます。私たちはマイボトルに着目し、プラスチックごみの削減について探究を行い、提案しました。
13	体育館	③	日	11	<b>ホテル避難の可能性~災害関連死をなくすために~</b> 日本の避難所の現状を詳しく調べ、避難所の環境を改善することを目指して、「災害関連死」という、救えるはずの命の犠牲をなくすことを目的に探究し提案した。
14	2年5組	②	日	4	<b>非認知スキルUPで貧困脱出へ~SESの低い児童の学力向上についての方策提案~</b> 私たちは、家庭環境の違いによって生まれる子どもの学習機会の格差を減らしていくことを目標としています。家庭環境に関わらず、非認知スキルと認知スキルを向上させること、それらを視覚的に測定することができる活動を考案し、提案を行いました。

## ■2年生(分科会)

班	会場	発表時間帯	言語	SDGs	社会課題探究テーマ
1	2年3組	④	英	8	<b>How to break the Negative Emotional Chain(ネガティブ連鎖を断ち切ろう!)</b> 話し合いの際、他人の意見や話し合い自体に否定的なことばかり言う人がいると、その話し合いは良い結果を生まない。私たちは、話し合いの場にそのようなネガティブな人がいても、周囲の人の適切な対応によって話し合いを円滑に行うことができると考え、その方法について探究をしている。
2	2年4組	④	英	8	<b>Inheritance of Hako Culture(はこ文化の継承)</b> 山梨、日本の伝統の一つであるはこ文化。しかし今、はこを使う人が減っている。私たちは、改めてはこの技術や伝統を日本人に伝え、はこを使い続けてもらうために活動している。
3	視聴覚室	③	英	3	<b>The Best School Schedule(最高の学校スケジュール)</b> 歯磨きをすると集中力が上がるという驚きの事実がある。これをもとに、若い世代に歯磨き習慣を定着してもらう活動を行っている。
4	1年3組	③	英	11	<b>Protect "TANADA" for future(棚田を後世へ)</b> 目標は、棚田米だけを使ったおむすびを販売し、棚田を後世に残すこと。棚田のオーナーになり、田植えから収穫まで行い、米作りを一から学んだ。今後は、山梨県を棚田保存のモデルにし、発信して全国展開する。
5	2年5組	④	英	11	<b>Green makes clean environment(グリーンカーテン)</b> 緑化を通して地球環境を改善し緑を増やすことを目的に探究をしている。グリーンカーテンを用いて緑をより身近なものにする、グリーンカーテンの新たな形を模索する、街の景観保護 etc.... ささまざまな角度からグリーンカーテンの可能性を探っていく!
6	2年3組 1年4組	① ③	英	13	<b>Small Hydropower Generation(小水力発電)</b> 小水力発電を普及させることを目標に活動している。小水力発電とは、二酸化炭素を排出しない、環境に良い発電である。皆さん、ぜひ小水力発電機の設置を検討してください。
7	1年5組	②	英	11	<b>How to reduce flooding 治水 Seigyu(治水と減災)</b> 約五百年前に、甲斐の武将武田信玄が考案したとされる治水事業のひとつである聖牛に注目。現在の治水事業に使用できないか構造、性能、効果について調査・実験を行い、現代に生かす。
8	2年2組 体育館	② ④	英	12	<b>Changing food waste (みんなで変えよう生ゴミ)</b> 私達は現在の焼却処分から、堆肥化による処理法に変えることで、CO2の削減とともに生ゴミを循環させることができると考えた。そこで、甲府市への堆肥化事業の導入を大きな目標として、そのための第一歩として生ゴミの水切りを進める活動を行っている。
9	1年2組	③	英	10	<b>ONIGOKKO U-100(鬼ごっこU-100)</b> 私たちは、年齢や障がいに関係なく、誰もが楽しめる鬼ごっこを作りたいと考えている。鬼ごっこは多くの人々に知られており、かつ幅広い可能性のあるため汎用性が高い。
10	1年3組	①	英	11	<b>HERITAGE OF SHOENKYO(知る・行く・繋げる 昇仙峡)</b> 昇仙峡は、山梨が誇る日本でも有数の美しい景観を持つ観光スポットだが、その観光客数は数年前から横ばいでその魅力的な観光資源を有効活用できていない。そこで私たちは、主に昇仙峡の歴史の部分に着目して観光客を集める方法を探究している。
11	1年1組	②	英	3	<b>We will bring you the right form of reading[Diverse reading methods to relieve stress].(あなたに合った読書のカチをお届けします!読書でストレス緩和を~)</b> 読書の意義の一つに、ストレスを軽減効果ということがある。私たちはこれに着目し、読書によるストレス緩和を目指している。また、それにはまず読書の普及が不可欠であると考え、ストレス緩和の活動をするともに、読書普及の活動も行っている。
12	2年1組	④	英	4	<b>Mutual Teaching(教えて学ぶ)</b> 私たちは「教えて学ぶ」をテーマに生徒同士が互いに勉強を教え合う授業形態によってどのような効果を得ることができるかについて探究している。これまでの私たちの実験結果と大学の先生方のデータをもとに、教えるという作業は学習において効率的であることがわかった。これからは外部の企業の方や教育関係の団体と協力して、教え合いを広めていきたい。

## ■3年ポスター・論文/2年レジュメ/1年ポスター展示

北館3階 コモンスペース	3年生の集大成となるポスターと論文、2年生の探究レジュメ、1年ポスター及び、各学年探究活動実績報告書、成果物を展示しています。 (*ポスターの展示は当日の午後からとなります)
--------------	--

■1年生(分科会)

班	会場	発表時間帯	言語	SDGs	社会課題探究テーマ
1	2年2組	①	日	3 持続可能な健康と福祉	<b>映画を通じた健康維持</b> 映画はたくさんの人が手軽に触れられる娯楽である。様々なジャンルの映画を通して、どのような効果が得られるのかを探究し、健康維持・促進につなげたい。
	2年3組	③			
2	体育館	①	日	3 持続可能な健康と福祉	<b>食の砂漠化 Food desert</b> 今現在、山梨県や日本のみならず世界レベルで食の砂漠化が問題となっている。それは、過疎地域に住む高齢の方や日本語が分からない外国人の方、障害等を持っている方たちが「買い物弱者」となってしまう十分な栄養が摂取できないことにつながっている。それらは健康被害を引き起こすため、すべての人に食と健康を提供する方法について探究している。
	2年2組	③			
3	2年4組	②	日	3 持続可能な健康と福祉	<b>アニマルウェルフェア(AW)を山梨に普及しよう！</b> 現在、日本では劣悪な環境で飼育されている動物がとて多い。鶏や豚といった家畜が例として挙げられる。他にもそういった動物はたくさんいるが、まずは家畜という観点に絞ってAWという動物の権利に配慮した考え方を広めていきたいと思った。そのために、学校などでの講演会やマルシェの開催を目標として活動している。
	1年5組	④			
4	2年3組	②	日	8 豊かさと経済成長	<b>集客方法を模索したい！</b> 有効な集客方法はなにか、湯村温泉と協力し探究を行っていた。しかし、湯村温泉をターゲットにすると、問題点があり探究が困難だった。また、集客方法では目的が定まらず探究することが難しかった。そのため、私たちは来年から流行りの根本はなにかという課題に変更し、ターゲットを個人営業飲食店として探究を行っていく。
	視聴覚室	④			
5	視聴覚室	②	日	11 持続可能な都市とコミュニティ	<b>減らそう、山梨の空き家</b> 山梨県の空き家率は長年にわたって全国一位である。空き家は様々な面で問題があり早急に解決しなければならない問題の一つである。なぜ山梨に空き家が多いのかを追求しその改善策を考える。
	1年1組	④			
6	1年2組	②	日	11 持続可能な都市とコミュニティ	<b>わくわく探検隊 山梨の新しいの新しい魅力を発信しよう</b> 山梨のまだ知られていないスポットを巡るウォーキングコースを作り、県外の人には観光、県内の人には健康増進のためのウォーキングとして楽しんでもらい地域活性化につなげる。
	2年2組	④			
7	2年1組	②	日	11 持続可能な都市とコミュニティ	<b>外国人にもフレンドリーな山梨県H70H54</b> 日本の総人口が減少を続ける一方、世界の総人口は増加を続けている。これから日本へ流入してくる外国人は増加すると考えられる。そこで、私たちは外国人が日本で過ごしやすくなるためにはどうすれば良いかを探究している。
	1年3組	④			
8	体育館	②	日	16 平和と公正	<b>すべての子どもをまんぷくに ～子どもによりそう居場所を～</b> 子どもの格差をなくしたいという、目的のもと子ども食堂を対象に、この機関がより活躍できるような社会づくりを目指す。そして、県に子どもの居場所づくりの促進となる、条例の提案を最終的なゴールとして活動していく。
	1年4組	④			
9	1年4組	①	日	11 持続可能な都市とコミュニティ	<b>山梨の鹿 救出だいせくせん！</b> 近年増加するJR身延線とシカの衝突事故が懸念されている。この問題によって乗客への迷惑はもちろん、生態系の破壊の恐れもある。私たちの班でこの課題を解決させるとともに、生物多様性とはなにか考えるきっかけを作る。
	1年5組	③			
10	1年2組	①	日	3 持続可能な健康と福祉	<b>助かる命を助けるために ～命を繋ぐE-Call～</b> 近年、救急車の不適正利用が相次いでいる。その結果、本当に必要な人のもとへ救急隊が出勤できなくなっている。そこで私たちは救急車の適正利用を促進させるためのアプリを、塩島さん協力のもと作っている。
	2年5組	③			
11	2年1組	①	日	11 持続可能な都市とコミュニティ	<b>棚田×スイーツ</b> 皆さん、今日の朝ごはんは何を食べてきましたか？かつての人々にこれを問えば、答えは'米'だったはずですが、現代においては食の多様化が進み、コメの消費量は減少の一途をたどっています。そこで私たちは、甲斐市の御領棚田を探究フィールドとして米商品を開発することにより、米離れに貢献したいと考えました。
	1年1組	③			
12	1年3組	②	日	4 質の高い教育をみんなに	<b>笑顔の宅配便</b> 厚生労働省や山梨県の調査によると、全国的にも山梨県内においても共働き家庭数が増加傾向にあり、それに伴い子供が一人で過ごす時間が増加している。そのような子供たちが寂しさを感じることがないように、また、寂しさを埋めることができるような居場所づくりをしていきたいと考えこの探究活動を始めた。
	1年2組	④			
13	2年5組	①	日	11 持続可能な都市とコミュニティ	<b>未来都市計画～空飛ぶクルマを移動手段として確立した街をメタバース上で再現する～</b> 空飛ぶクルマは今、現実になりつつある。この空飛ぶクルマによって、さまざまな交通問題を解決できると私たちは考えた。そこで空飛ぶクルマを利用した街をメタバースを使って再現することで、社会がどう変わるのかを実際に体験してほしいと考えて探究を始めた。
	2年4組	③			

★午前分科会 タイムスケジュール

①10:00～10:25 ②10:35～11:00 ③11:10～11:35 ④11:45～12:10

■各学年代表発表会(全体会)

班	会場	発表時間帯	言語	SDGs	社会課題探究テーマ
1年11班	体育館	全体会	日	11 持続可能な都市とコミュニティ	<b>棚田×スイーツ</b> 皆さん、今日の朝ごはんは何を食べてきましたか？かつての人々にこれを問えば、答えは'米'だったはずですが、現代においては食の多様化が進み、コメの消費量は減少の一途をたどっています。そこで私たちは、甲斐市の御領棚田を探究フィールドとして米商品を開発することにより、米離れに貢献したいと考えました。
2年9班			英	10 人や国の不平等をなくそう	<b>ONIGOKKO U-100(鬼ごっこU-100)</b> 私たちは、年齢や障がいに関係なく、誰もが楽しめる鬼ごっこを作りたいと考えている。鬼ごっこは多くの人々に知られており、かつ幅広い可能性のあるため汎用性が高い。
3年6班			日	11 持続可能な都市とコミュニティ	<b>故きを訪ねて新しさを伝える～山梨県北部に残る信仰の道「御嶽古道」について～</b> 富士山観光の一極化により他の歴史を持つ観光地の衰退という課題が生まれた。その代表的な地の一つである山梨県北部の「御嶽古道」に焦点を当て、後世に残す方法を探究している。この探究が全国の他の歴史を持つ地の復興のプロセスになることを願う。

■招聘校発表会(全体会)

山梨大学教育学部附属中学校 1年 池崎晴飛 菅原美乃里 照山芽吹 平林美海	15 持続可能な都市とコミュニティ	カモシカが害獣として扱われなくするために私達はどうすれば良いだろうか カモシカの食べ物はシカとよく似ている。シカの過採食のために、カモシカによる食害が起き、駆除の対象になっている。生息地となっている山岳地帯の環境を改善することで食害を小さくすることができると考えた。今の私達の立場では、山の環境を汚さない程度の活動しかないが、将来的には植林活動などへの参加も可能になる。
山梨大学教育学部附属中学校 2年 神田琉希亜	8 豊かさと経済成長	伝統芸能(能、狂言、歌舞伎) 伝統芸能の代表的なものとして能、狂言、歌舞伎があります。私は伝統芸能について学びを深めるためにこの能、狂言、歌舞伎の三つの共通点を知り、さらにその三つの共通点から伝統芸能の魅力や伝統芸能になるための条件とは何かを大きな問いとして考えました。そしてその問いに対して「共通点が多ければ多いほど伝統芸能の魅力につながるであろう。」と仮説を立てて検証しました。
県立笛吹高等学校 食品化学科2年 赤尾一輝 川端蒼空 望月柚弥	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 持続可能な都市とコミュニティ	ワイン県を下支えする地域連携の取組み 峡東地域世界農業遺産推進協議会から遺産登録のための最終審査会において、地元笛吹高校のワイン研究班の活動について報告発表の依頼があった。国連食糧農業機関(FAO)の審査員を前に英語での発表に苦心したが、前身の石和高校時代から続く試験醸造の歴史や課題、成果について触れ、地域固有の伝統的な産業と文化について理解を深めてもらうことができた。



探究科の社会課題設定

▶1 上位課題 SDGs(SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS)

世界の貧困削減や保健衛生、教育普及など、国連は2015年までの達成目標(ミレニアム開発目標・MDGs)を掲げていましたが、度重なる世界の变化、例えば財政危機や自然災害など新たな課題が山積しました。そこで、2015年以降に新たな目標を打ち立てる必要に迫られました。それが「持続可能な開発目標(SDGs)」です。2012年の国連会議「リオ+20」において合意され、現在17の目標が打ち立てられています。先進国にも対応の役割が求められているのです。DOORプログラムで掲げる上位課題は以下に示す17のコンテンツから選びます。

▶2 下位課題(中位課題)

上位課題に関連させ、もっと私たちの生活に隣接する課題、それを下位(中位)課題に設定します。例えば、本県の人口減の問題や、農業でいえば若者の就業問題といった克服すべき課題をさします。そしてプランニングでは下位(中位)課題の解決をめざし、さらには上位課題の克服(関与・影響)を目標にしていきます。そのようなスタンスを設定することで、グローバルビジョンを養いながら、社会に寄与する姿勢を育てます。



## 2022年度「山梨ブランドサミット」アンケート結果 教員

2023年3月18日（土）実施

【1年生の発表について】 ・大変よかった 58.3% ・良かった 41.%

### (感想)

- ・分科会に参加させていただきました。良く調べて発表していました。視聴者側の生徒もしっかりと質問をしていて素晴らしいです。
- ・ポスターや発表の仕方に工夫が見られ、何回も練習を重ねている班が多かったように思います。
- ・ポスターや、小道具に工夫が見られ、声も大きく非常に聞きやすかったです。質疑応答に関しても、しっかりとした受け答えでよかったと思います。来年度に向けてより深めた探究ができるといいと思います。
- ・原稿を見ないで堂々と発表しており、練習の成果が見られた。
- ・発表はしっかり行っていた。
  - ・テーマ設定や目標をもう少し定めた方がよい。
  - ・感覚でなく、データに基づいた研究が必要。
- ・発表はしっかり行っていた。
  - ・テーマ設定や目標をもう少し定めた方がよい。
  - ・感覚でなく、データに基づいた研究が必要。
- ・寸劇を入れる等、工夫が見られた。
- ・さまざまな制約があった中で、よく取り組んでいたと思います。
- ・分科会で1年生の発表を見ることはできなかったが、司会や運営をしっかりと行っていたと思う。
- ・次のことも考えつつ、よくやっていたと思います。
- ・分散登校でのハンデがある中、よくやったと思う。
- ・主体性を発揮し、大きく成長している様子がうかがえました。
- ・校内ブランドサミットの時よりも、内容がレベルアップしていて良かったと思います。  
やや調べ学習的なグループが多かったので、2年生になったらもっと広い視野を持って外部との関わりの中で探究していけると良いですね。コロナ次第ですが。
- ・緊張している様子が伺えましたが、一生懸命やっていました。来年度にむけて研究の内容がもっと深みを増していくよう楽しみにしています。
- ・普通科の生徒も興味を持って聞いていました。改善点はあるものの、今後に期待したいです。
- ・2つの班の発表を見ました。発表態度も良く、質問にもしっかりと回答することができており、日頃の熱心な取り組みが伝わってくる内容でした。今後の活動も期待しています。
- ・発表を工夫しよう(聴衆に印象付けようと)とするあまり、探究のテーマとずれてしまっていたところが残念でした。
- ・試行錯誤しながら頑張っていたと思います。
- ・課題はまだまだあるが、1年間での成長が見られた発表だった。
- ・不十分な点もありますが、分散登校が続き、班のメンバー全員が集まる機会がほとんどない中で、最後の仕上げをよく頑張ったと思います。

【2年生の発表について】 ・大変よかった 58.4% ・良かった 37.5% ・良くなかった 4.1%

(感想)

- ・ 英語の発表は内容が分かりにくく、日本語への変更か両方の言語を用いてほしい。
- ・ 英語の発表はもちろん、質問をする生徒も英語でのやり取りができていて、ただただ感心致しました。
- ・ 多くの生徒が英語での発表を理解できず、寝てしまう生徒が何人もいて起こすのがたいへんだった。私自身も何もわからなかった。すばらしい探究なのになにもわからず残念だった。生徒からも多数同じ感想を聞いた。
- ・ 今回の発表会は、ALT の先生方にアドバイスをもらえる貴重な機会になったと感じた。
- ・ 身近な社会問題に目を向け、リサーチを重ね、考えられていたように思います。ただ、声の大きさや、スピードなど、もう少し練習が必要な場面もあったように思いますが、大変良かったと思います。
- ・ 9月のイングリッシュプレゼンセミナー、1月の校内ブランドサミットに向けて作成した原稿と比較して、成長が見て取れた。特に最後の追い込みで発表の仕方まで工夫した姿が見られた。
- ・ 英語が苦手と思われる生徒も簡単な英語を使い、一生懸命さが伝わって来た。
- ・ 英語での発表、一段ハードルが高いですが、よく取り組んでいたと思います。
- ・ 「なぜそのテーマを選んだのか」、「なぜ(数ある方法の中から)その方法を選んだのか」という質問に対して、回答に苦慮するグループが多かった印象を受ける。「なぜ？」を突き詰めると、軸がぶれずないより良い探究活動になると感じます。
- ・ 英語で立派に発表していました
- ・ 発表内容も、プレゼンの態度も、秀逸でした。
- ・ 英語でも発表。聴いているほうも緊張して一生懸命理解しようとしている様子が伺えました。事前によくレジュメを読まないとかカーンとしている生徒もいるので準備が大切だと思いました。
- ・ 英語でのスピーチお疲れさまでした。内容面については、今後に期待したいです。
- ・ 英語の教科担当として。英語での質問に対して、頑張って英語で答えようとする姿勢が素晴らしかったです。見学したすべての班が頑張っていました。原稿をただ読むだけでなく、平易な英語で相手に伝えようとする努力が伝わってきました。
- ・ ALTの英語での質問に英語で一生懸命答えようと皆頑張っていました。
- ・ 1年生に同じく、校内ブランドサミットも踏むことができないまでも、前向きに取り組み成果を出していました。
- ・ 代表の班しか拝見していないのでこの評価です
- ・ 全体的に、英語スピーチ力が上がっていると思います。分散登校の中で仕上げることをよく頑張ったと思います。

【3年生の発表について】・大変よかった 29.2% ・良かった 62.5% ・良くなかった 8.3%

(感想)

- ・ 分科会の時間帯は会場・講評係でしたので、3年生の発表は全大会のみリモートで視聴しました。
- ・ アーケード街を活性化するのにシャッターアートではなく(シャッターアートは店が閉まってからなので)人通りがもどるような案を聞きたかった。
- ・ 全体会の発表しか聞く機会がありませんでしたが、経験を重ね、発表に関しては自然体でしたね。
- ・ 短期間の中で、自分事として考えられる課題を設定できていた。
- ・ やはり下級生よりも話し方が上手だった。
- ・ さすがに3年生、1・2年生の発表より完成度が高かったと思います。
- ・ 楽しそうで、流石余裕が出てきていて良かったと思います。
- ・ 内容もだが、自主的に発表してくれたその心意気がすばらしい。
- ・ 場数を踏んできたので、聴衆を巻き込んで飽きさせない工夫をしていた。
- ・ 洗練されたプレゼンテーションで、堂々と発表しておりました。
- ・ 新しい発表班でやった班が多かったので、3年間の探究の積み重ねという感じは受けませんでした。でも発表し慣れていて、下級生にダイレクトに伝わる感じがして良かったです。
- ・ 受験生に向けた発表内容で興味深かったです。お疲れさまでした。
- ・ 全体会しか参加できていませんが、新規に探究し、今までの探究プロセスを活かしつつ、落ち着いて一番素晴らしい発表のように感じました。やはり3年生ですね。
- ・ 卒業生に発表のモチベーションを持たせ続けることは難しいものだなあと感じた。
- ・ テーマを変更しても、1・2年生まで取り組んできた探究の方法等が確立できていると思いました。

【全大会代表班の発表】 ・大変よかった 43.5% ・良かった 52.2% ・良くなかった 4.3%

(感想)

- ・ 招聘校の生徒を含め、興味深い内容でとても素晴らしかったです。
- ・ オンラインだったので、特に英語が聞き取りにくく(聞き手のリスニング力もありますが...)理解できない生徒が多かったです。
- ・ 落ち着いていて、堂々としてよかったと思います。英語での発表が自然でした。内容もユニークで非常に興味深いものでした。
- ・ 発表者もやり取りをした生徒も誠実にやり取りをしていて学習の成果がよく出ていた。
- ・ 2年生の英語は上手であったが、全員がわかるようもう少しスピードを落とし、簡単な英語での発表にしても良かったのではないかと思います。
- ・ 代表班がどのように選ばれたのかわかりませんが、全体の場で発表する機会を設けることは良いと思います。
- ・ 1年生の代表班はゲームのルールに関する説明が多かったと思うので、来年度、実際に活動を行ってみて結果を知りたい。3年生の発表についても、(コロナの影響による困難もあったと思うが)実際に提案を実行に移した後の成果や影響を知りたかった。
- ・ オンラインというのはやはり聞く方も難しいと思いました。
- ・ 西条小5年田中君の発表も、その後の本校探究科2年生のコメントもすばらしく、感心した。
- ・ 探究のサイクルがしっかり機能して、質の高い内容で、今後の成長が楽しみです。

- ・ 本校の代表班は、生徒同士の採点で選ばれたのだと思うので、わかりやすい内容でした。ただもう少し社会課題に鋭く切り込んだような内容の班でも良かったのではと思いました。
- ・ 内容は素晴らしかったです。しかし、機器的に限界だったと思うので仕方がないことだとは思いましたが、全体会のパワーポイントがリモート先だと見えにくく残念でした。また、英語での司会も聞き取りづらかったです。
- ・ 代表者だけあって、発表態度も内容もよかったです。小学生と笛吹高校のみなさんの発表も素晴らしかったです。
- ・ 普通科の生徒にとって、全体会はリモートでない方がいいです。頑張っ発表している生徒の熱意はリモートでは届かず、質問もしにくく、どうしても他人事になってしまうため。
- ・ 3年生は言うに及ばず、1, 2年生の発表も素晴らしかったです。
- ・ 各学年の代表のふさわしく発表が上手でした。今後の探究の深化に期待しています各学年の代表のふさわしく発表が上手でした。今後の探究の深化に期待しています

#### 【山梨ブランドサミットについての感想】

- ・ 準備、ご指導等本当にお疲れさまでした。新たな視野が広がり、とても勉強になりました。
- ・ コロナ禍でしようがないが、リモートはつらい。生徒によっては4時間リモートだったので、よく頑張っ聞いていたと思う。英語の発表は訳が欲しい。読めないし聞くことができないので。
- ・ 1年の普通科の生徒も発表をよく聞いて、質問をしていた。コロナ感染症対策でオンラインや分散教室など探究科生徒や先生方の準備も大変だったと思いますが、仲間の姿に刺激を受けていたようだ。
- ・ 日ごろの探究活動の成果を披露する場が与えられたことは、生徒にとってとても大きな意味を持つものになったのではないかと思います。
- ・ 全ての班で、社会課題を調べるというよりも、自分事として考えられる問題意識と社会課題をつなげて考えられると課題の設定の仕方としてよりよいものになると思います。ALTとのやり取りで、なぜその課題を設定したのか問われていた班が、自分のストーリーを語っており、それに対してとても納得していたような場面が今日のやり取りの中でありました。SDGsの何番だから取り組んだというよりも、何倍もいいやり取りだったと思います。今年参加した全国大会の発表会で、講評をおっしゃる先生方が異口同音に、自分事として取り組むことのできる課題設定が大事で、それが総合的な学習の時間と総合的な探究の時間の違いだとおっしゃっていました。
- ・ 生徒はしっかり取り組んでいると思う。探究の方向性をもう少し示してあげたほうが良い。感覚や予測で述べていることが多すぎて、信ぴょう性が感じられない。探究内容を広範囲に広げすぎない方がよいのではないかと思います。
- ・ 一高にとって、探究活動を全校体制で推進することは必要なことで、生徒・教員の負担も大きいですが、意義のあることだと思います。
- ・ 他校の生徒さんの発表が印象的であった。自らの強みを自覚し、活かした活動を行っており、一高生にも良い刺激を与えてくれたと思います。準備・運営お疲れ様でした。
- ・ 以前から思っているが、2年生の英語発表の目的は理解できるが、発表内容が理解できるのは、一部の教員と生徒なので、2年生も探究内容をさらに深めた、日本語での発表の方が良いと思います。
- ・ 分科会で聴衆生徒達から質問があまり出ていなかったなので、質問が活発にできる分科会になるともっと良くなる印象です。
- ・ 係職員や探究顧問の先生方の支えがあつての企画で大成功でした。大変うれしく思っております。ありがとうございます。文科指定事業も今年で最後です。ありがとうございました。
- ・ 探究科の先生方、本当にお疲れさまでした。普通科の生徒にも参加しやすいものになっていて良かったと思います。

- ・ ご指導にあたった先生方の大きなご尽力を考えると本当にお疲れさまでした。本当に大変なご指導だったと思います。来年度もまた続いていくと思いますが、先生方のお仕事の負担が大きくなりすぎないように、そして生徒のすばらしい経験や体験になるよう工夫して行っていったらどうかと思っていました。本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。
- ・ お疲れさまでした。普通科の生徒たちも興味を持って聞けていたようで、よかったです。ありがとうございました。
- ・ コロナ禍の中、先生方様々な準備等本当にお疲れ様でした。発表内容・態度も良く、さらに普通科の生徒も積極的に質問する姿が見られ、充実した時間を過ごすことができました。  
ありがとうございました。
- ・ 今年のような状況で、リモートを駆使して他校の児童生徒と繋がって発表を聞けることは、探究推進の先生方のご尽力によるものであり、探究科の生徒もこの日のために頑張っていて、そのことは大変素晴らしいと思うのですが、普通科と探究科でコロナ以前よりも本行事に対する温度差が出てしまったように感じます。

### 3 教育課程表

教科	科目	1年 (R4入学)		2年 (R3入学)				3年 (R2入学)			
		普通科	探究科	普通科		探究科		普通科		探究科	
		文系	社会・科学	理系	文系	社会探究	科学探究	理系	文系	社会探究	科学探究
国語	国語総合										
	国語表現										
	現代文B			2	3	2	2	2	2	3	2
	古典B			2	3	3	2		4	4	3
	現代の国語	2	2								
	言語文化	3	3								
	*古典研究 *現代文批評							3		2	
地理歴史	世界史A										
	世界史B										
	日本史A				3				4		
	日本史B				2	2			4		
	地理A			2		2	2				
	地理B										
	歴史総合 *世界史研究 *日本史研究	2	2						3		3
公民	現代社会			2		2	2		3	3	
	倫理					2		3	3	3	3
	政治・経済				2			3	3		3
数学	数学Ⅰ	3									
	数学Ⅱ	1		3	3						
	数学Ⅲ			1				5			
	数学A	2		1							
	数学B			2	2						
	*数学研究							3			
	*総合数学A *総合数学B *総合数学C							5		5	
理科	科学と人間生活		2								
	物理基礎			2							
	物理			2				4			
	化学基礎	2	2	2				4			
	化学			2	2	2					
	生物基礎			2				4			
	生物			2							
地学基礎				2							
*生物基礎探究 *化学基礎探究 *地学基礎探究 *理科研究								2	2	2	
保健	体育	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
	保健	1	1	1	1	1	1				
芸術	音楽Ⅰ	2	2								
	音楽Ⅱ								2		
	*音楽表現								3		
	美術Ⅰ	2	2								
	美術Ⅱ *美術制作								2	3	
外国語	書道Ⅰ 書道Ⅱ	2	2								
	コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ			4	4			4	4		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	4									
	英語表現Ⅰ										
	英語表現Ⅱ			2	2			2	3		
	論理・表現Ⅰ *英語研究	2							4		
	家庭基礎	2				2	2				
家庭	子どもの発達と保育 フードデザイン								3	2	
	社会と情報										
情報	情報Ⅰ	2	2								
	理数数学Ⅰ		5								
探究	理数数学Ⅱ		1			4	4			2	5
	理数数学特論					2	2			2	2
	理数物理										4
	理数化学										4
	理数生物										4
	総合英語										
	英語理解									4	4
	英語表現					2	2				
	異文化理解									3	2
	総合英語Ⅰ		4								
	ディベート・ディスカッションⅠ		2								
	*AP English					4	4				
	*歴史研究Ⅰ *歴史研究Ⅱ					3				4	
*グローバル公共					1	1					
*グローバル探究Ⅰ *グローバル探究Ⅱ *グローバル探究Ⅲ		2									
ホームルーム活動	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
総合的な探究の時間	1	(1)	1	1	(1)	(1)	1	1	(1)	(1)	
合計単位数	33	34	33	33	34	34	33	33	33	33	

普通科：1年次 数学；前期で「数学Ⅰ」3単位履修を終え、後期に「数学A」2単位及び「数学Ⅱ」1単位を履修する。  
 普通科：理系2年次、理科：「物理選択者」は、前期で「物理基礎」2単位履修を終え、後期に「物理」2単位を履修する。「生物選択者」も前期で「生物基礎」2単位履修を終え、後期に「生物」2単位を履修する。物理選択者の「生物基礎」2単位および生物選択者の「物理基礎」2単位については、通年での履修となる。  
 普通科：文系3年次；「理科・英語」選択については、①生物基礎探究（2単位）＋「化学基礎探究or地学基礎探究（2単位）」又は②英語研究（4単位）となる。  
 探究科：理科の必修は「科学と人間生活」および「化学基礎」の2科目で実施する。  
 数学；初めに「理数数学Ⅰ」5単位の履修を終え、その後「理数数学Ⅱ」1単位を履修する。  
 ・グローバル探究Ⅰ（2単位）；グローバル探究Ⅰ「1単位」と総合的な探究の時間「1単位」（代替）により構成・実施する。  
 ・グローバル探究Ⅱ（1単位）；総合的な探究の時間「1単位」の代替により実施する。  
 ・グローバル探究Ⅲ（1単位）；総合的な探究の時間「1単位」の代替により実施する。  
 「AP English」は「Advanced Practical English」の略称である。